

## チェックテスト

### おすすめの使い方

#### ✓ 問題集を使用する前の**実力チェック**に！

問題集に取り組む前に解くことで、現状の実力を確かめることができます。わからなかった問題があったら、そこが自分の弱点です。本冊のまとめページをよく読んでから、標準問題、最高水準問題に取り組みましょう。

#### ✓ 問題集を使用しているときの**理解度チェック**に！

標準問題を解いていて、わからない問題が多いときは、チェックテストを解いて基本事項を理解できているか、確認しましょう。

#### ✓ 定期テストや入試直前の**総復習**に！

テスト直前に解くことで、中学3年間分の学習内容の大事なポイントをまとめておさらいすることができます。

## チェックテスト

解答 別冊 p.1

▶ 問いや空欄に適切な語を書きなさい。

### 1 章 生物

#### 1 植物の特徴と分類 1年

→ p.14

- |     |                             |    |   |
|-----|-----------------------------|----|---|
| □ 1 | めしべの下部にあるふくらんだ部分。           | [  | ] |
| □ 2 | おしべのやくでつくられた ( ① ) が、めしべの柱頭 | [① | ] |
|     | につくことを ( ② ) という。           | [② | ] |
| □ 3 | 子房がなく胚珠がむき出しになっている花をつける植物   | [  | ] |
|     | のなかま。                       |    |   |
| □ 4 | 平行脈をもつ植物のなかま。               | [  | ] |
| □ 5 | シダ植物や ( ) 植物は、胞子でふえる。       | [  | ] |

#### 2 動物の特徴と分類 1年

→ p.20

- |     |                               |    |   |
|-----|-------------------------------|----|---|
| □ 6 | 背骨がある動物。                      | [  | ] |
| □ 7 | 背骨がある動物で、一生えら呼吸をするのは ( ① ) 類、 | [① | ] |
|     | 胎生なのは ( ② ) 類である。             | [② | ] |
| □ 8 | ( ① ) 動物の目は側面についていて、( ② ) 動物  | [① | ] |
|     | の目は前方についている。                  | [② | ] |
| □ 9 | 節足動物のからだを覆う殻を ( ① )、軟体動物の内臓   | [① | ] |
|     | を包む膜を ( ② ) という。              | [② | ] |

#### 3 植物のからだのつくりとはたらき 2年

→ p.28

- |      |                               |    |   |
|------|-------------------------------|----|---|
| □ 10 | ほとんどの細胞にふつう 1 個あり、染色体が含まれている。 | [  | ] |
| □ 11 | からだが 1 個の細胞だけからできている生物。       | [  | ] |
| □ 12 | 呼吸では、( ① ) という気体を吸収して、( ② )   | [① | ] |
|      | という気体を放出する。                   | [② | ] |
| □ 13 | 道管と師管が集まって束となったもの。            | [  | ] |

#### 4 動物のからだのつくりとはたらき 2年

→ p.36

- |      |                             |    |   |
|------|-----------------------------|----|---|
| □ 14 | 胆汁をつくる消化器官は ( ① )、胆汁を一時蓄える消 | [① | ] |
|      | 化器官は ( ② ) である。             | [② | ] |
| □ 15 | だ液の中に含まれる消化酵素は ( ① )、胃液の中に含 | [① | ] |
|      | まれる消化酵素は ( ② ) である。         | [② | ] |
| □ 16 | 気管支からつながっている肺の中の小さなふくろ。     | [  | ] |
| □ 17 | 血液の成分で、体内に入ってきた細菌をとらえるのは    | [① | ] |
|      | ( ① )、酸素を運ぶのは ( ② ) である。    | [② | ] |

**5 生命の連続性** 3年

→ p.44

- 18 細胞の核の中の染色体の中に存在し、生物の形質を現す [ ]  
もとなるもの。
- 19 受精を行い、受精卵をつくることによって新しい個体を [ ]  
つくる有性生殖に対して、受精を行わず、体細胞分裂に  
よって新しい個体をつくることを ( ) という。
- 20 生殖細胞をつくるとき、生殖細胞の中の染色体の数が体 [ ]  
細胞の半分になる特別な細胞分裂。
- 21 脊椎動物の前あしにあたる部分のように、起源が同じも [ ]  
のから変化してできたと考えられるつくり。

**6 自然界のつり合い** 3年

→ p.54

- 22 ある地域での環境と生物をひとまとまりとしてとらえた [ ]  
もの。
- 23 生物どうしの「食べる・食べられる」という関係でのつ [ ]  
ながりを ( ) といい、これによるつながりが網の  
目のようになった様子を食物網という。
- 24 土の中や水の中で、生物の排出物や死がいなどの有機物 [ ]  
を取り込んで無機物に分解する生物。
- 25 炭素は、食物連鎖により有機物の一部として循環したり、 [ ]  
呼吸や光合成により ( ) として循環したりしている。

**2 章** 地学**7 火山と地層** 1年

→ p.58

- 26 火山ガスの主成分。 [ ]
- 27 マグマのねばりけが ( ① ) と盛り上がった形の火山 [①]  
になる。このような火山では、② {ア おだやかに [②]  
イ 激しく} 噴火することが多い。
- 28 無色鉱物で、不規則に割れるのは ( ① )、決まった方 [①]  
向に割れるのは ( ② ) である。 [②]
- 29 火山岩のように斑晶のまわりを石基が取り囲んでいるつ [ ]  
くりを ( )、深成岩のように石基がなく、大きな結  
晶がきっちり組み合わさったつくりを等粒状組織という。
- 30 地層に大きな力がはたらくことによってできた地層のず [ ]  
れ。
- 31 火山灰などの火山噴出物が押し固められてできた堆積岩。 [ ]
- 32 地層が堆積した地質年代を知る手がかりとなる化石。 [ ]

**8 地震とその伝わり方** 1年

→ p.66

- 33 ある地点での地震による揺れの程度を ( ① )、地震そのものの規模 (エネルギー) を ( ② ) という。 [①] ]  
[②] ]
- 34 地震が発生した地下の点を ( ① )、( ① ) の真上の地表の地点を ( ② ) という。 [①] ]  
[②] ]
- 35 地震が発生したとき、初めに起こる小さな揺れを ( ① )、( ① ) のあとに起こる大きな揺れを ( ② ) という。 [①] ]  
[②] ]

**9 天気とその変化** 2年

→ p.72

- 36 雨や雪などが降っておらず、雲量が1のときの天気は ( ① )、雲量が8のときの天気は ( ② ) である。 [①] ]  
[②] ]
- 37 全国約1300か所にある自動気象観測装置で観測されたさまざまな気象要素のデータを観測センターに集める地域気象観測システムのこと。 [ ] ]
- 38  $1\text{ m}^3$  の空気中に含むことのできる水蒸気の最大量 (g) のこと。 [ ] ]
- 39 空気の温度を下げていくと、水蒸気が凝結して水滴がで始める。このときの温度のこと。 [ ] ]
- 40 寒気団が暖気団を押し上げながら進んでいるところに来た前線のこと。 [ ] ]
- 41 熱帯低気圧が発達して最大風速が  $17.2\text{ m/s}$  以上になったもの。 [ ] ]

**10 地球の動きと天体** 3年

→ p.82

- 42 天体の日周運動の原因。 [ ] ]
- 43 天体の年周運動の原因。 [ ] ]
- 44 日本で、太陽が最も南寄りから出て、南寄りに沈む日。 [ ] ]
- 45 太陽と地球の間に月が入ることで太陽がかくされる現象。 [ ] ]
- 46 地球の影に月が入る現象。 [ ] ]

**11 太陽系と宇宙** 3年

→ p.92

- 47 太陽の表面で黒い点のように見える部分。 [ ] ]
- 48 太陽と、太陽を中心として運動している天体の集まり。 [ ] ]
- 49 日没後の数時間や日の出前の数時間しか観測できず、明けの明星やよいの明星とよばれる惑星。 [ ] ]
- 50 大型で、おもに気体でできている4つの惑星のこと。 [ ] ]
- 51 太陽系を含む銀河。 [ ] ]

## 3章 化学

## 12 物質の分類と状態変化 1年

→ p.98

- 52 炭素を含む物質を ( ① ) といい、多くは水素も含む [①]  
 ので、燃えると二酸化炭素と ( ② ) が発生する。 [②]
- 53 体積が  $12\text{cm}^3$  で、質量が  $94.44\text{g}$  の物質の密度は何  $\text{g}/\text{cm}^3$  [ ]  
 か。
- 54 物質が固体⇌液体⇌気体とすがたを変えること。 [ ]
- 55 液体を沸騰させ、生じた気体を冷やして液体にして集め [ ]  
 ること。

## 13 気体と水溶液 1年

→ p.104

- 56 アンモニアを集める方法。 [ ]
- 57 二酸化マンガンにうすい ( ① ) 水を加えると酸素が [①]  
 発生する。試験管に集めた酸素に火のついた線香を入れ [②]  
 たとき、② {ア 気体が「ボンッ」と音を出して燃えたら  
 イ 線香が激しく燃えたら} 酸素である。
- 58 食塩水での水のように、溶質を溶かしている液体。 [ ]
- 59 ろ紙を使って、液体の中に混じっている (溶けていない) [ ]  
 固体をこし取る操作。
- 60  $100\text{g}$  の水に  $25\text{g}$  の食塩を溶かしたときにできる食塩水 [ ]  
 の質量パーセント濃度は何%か。

## 14 化学変化と化学反応式 2年

→ p.112

- 61 物質をつくっている最小の粒子。 [ ]
- 62 酸素や銅のように、1種類の元素からできている物質。 [ ]
- 63 炭酸水素ナトリウムを加熱すると、炭酸ナトリウムとい [ ]  
 う固体と水と ( ) という気体に分解される。
- 64 酸化銀の分解を化学反応式で表すと、 [①]  
 ( ① )  $\longrightarrow$  ( ② ) +  $\text{O}_2$  [②]

## 15 化学変化と量的関係 2年

→ p.118

- 65 化学変化の前後で、化学変化に関係した物質全体の質量 [ ]  
 は変化しないという法則。
- 66 質量の比で、銅：酸素が 4：1 で結びつくとなると、銅 [ ]  
 粉  $2.8\text{g}$  を加熱してできる酸化銅は何  $\text{g}$  か。
- 67 質量の比で、マグネシウム：酸素が 3：2 で結びつく [ ]  
 すると、 $1.8\text{g}$  のマグネシウムと結びつく酸素は何  $\text{g}$  か。

**16 水溶液とイオン** 3年

→ p.126

- 68 水に溶かしたとき、その水溶液に電流が流れる物質を [①] ]  
 ( ① ) といい、水に溶けたとき ( ① ) が陽イオン [②] ]  
 と陰イオンに分かれることを ( ② ) という。
- 69 原子が電子を {ア 受け取って イ 失って} + の電気 [ ] ]  
 を帯びたものを陽イオンという。
- 70 塩化銅水溶液を電気分解すると、{ア 陽極 イ 陰極} [ ] ]  
 からは塩素が発生する。
- 71 水に溶かしたときに ( ① ) イオンを生じる化合物を酸、 [①] ]  
 ( ② ) イオンを生じる化合物をアルカリという。 [②] ]
- 72 酸の水溶液とアルカリの水溶液を反応させたとき、たが [ ] ]  
 いの性質を打ち消し合う反応。

**17 化学変化と電池** 3年

→ p.136

- 73 金属のイオンへのなりやすさ。 [ ] ]
- 74 化学エネルギーを電気エネルギーに変換する装置。 [ ] ]
- 75 硫酸亜鉛水溶液と硫酸銅水溶液をセロハンでしきり、硫 [ ] ]  
 酸亜鉛水溶液に亜鉛板、硫酸銅水溶液に銅板を入れて導  
 線をつないだ装置。
- 76 電子は① {ア + 極 イ - 極} から② {ア + 極 [①] ]  
 イ - 極} へ移動する。 [②] ]

**4 章** 物理**18 光と音** 1年

→ p.144

- 77 光が異なる物質の境界面で折れ曲がって進むこと。 [ ] ]
- 78 光がガラスや水の中から空気中に出るとき、入射角が大 [ ] ]  
 きく境界面ですべての光が反射する現象。
- 79 音を出している物体。 [ ] ]
- 80 振動数が多い音ほど {ア 高い イ 低い} 音が出る。 [ ] ]

**19 力** 1年

→ p.150

- 81 変形したゴムなどの物体がもとに戻ろうとする力。 [ ] ]
- 82 物体を机の上などに置いたとき、机から物体に対し垂直 [ ] ]  
 上向きにはたらく力。
- 83 ばねののびは、ばねに加えた力に比例するという法則。 [ ] ]
- 84 2つの力がつり合っているとき、2つの力は一直線上に [①] ]  
 あり、向きは ( ① ) で、大きさは ( ② ) 。 [②] ]

**20 電流の流れ** 2年

→ p.156

- 85 電流の流れにくさを（ ）といい、オーム（記号： $\Omega$ ） [ ]  
という単位で表す。
- 86 電力は電圧（V）と電流（A）の（ ① ）によって求 [①]  
められ、（ ② ）（記号：W）という単位で表す。 [②]
- 87 電気が流れ出す現象や、電気が空間を移動する現象。 [ ]
- 88 蛍光板の入った真空放電管で蛍光板を光らせるすじ。 [ ]

**21 電流と磁界** 2年

→ p.164

- 89 磁針のN極が指す向きを（ ）といい、これにそっ [ ]  
てつないだ曲線を磁力線という。
- 90 導線に電流を流すと、電流が流れていくほうへ向かって [ ]  
{ア 時計 イ 反時計} 回りで、導線を中心とした同心  
円状の磁界ができる。
- 91 コイルの中の磁界を変化させると、コイルに電圧が生じ、 [①]  
電流が流れる現象を（ ① ）といい、このとき流れる [②]  
電流を（ ② ）という。
- 92 一定方向に流れる電流を直流といい、これに対して、向 [ ]  
きと大きさが周期的に変わる電流を（ ）という。

**22 運動とエネルギー** 3年

→ p.170

- 93 物体Aが物体Bに加えた力を作用といい、これに対して [ ]  
物体Aが物体Bから受けた力を（ ）という。
- 94 2力と同じはたらきをする1つの力を求めることを [①]  
（ ① ）といい、求められた力を（ ② ）という。 [②]
- 95 物体にはたらく1つの力を、同じはたらきをする2つの [①]  
力に分けることを（ ① ）といい、（ ① ）によって [②]  
できた2つの力を（ ② ）という。
- 96 20Nの物体を15m持ち上げたときの仕事（J）。 [ ]
- 97 25Nの物体を5秒で23m持ち上げたときの仕事率（W）。 [ ]
- 98 物体にはたらく重力で生じる運動では、位置エネルギー [ ]  
と運動エネルギーの和が一定に保たれること。

**23 科学技術と人間** 3年

→ p.180

- 99 エネルギーが変換されても、エネルギーの総量は変化し [ ]  
ないこと。
- 100 消費されたエネルギーに対する利用できるエネルギーの [ ]  
割合。